

## ■高倉 健 特集 (2作品)

・高倉健の一周忌を悼悼し、高倉健が主演した代表作品を上映します！

### ◎網走番外地 決斗零下30度 <89分/1967年/日本/東映>

\*エコーホール【11/7】①9:15 【11/8】①9:15

ゲスト：監督・内藤 誠 俳優・伊達 弘 プロデューサー・瀬戸恒雄 ほか

#### ◎監督：石井輝男

出演：高倉 健 嵐寛寿郎 田中邦衛 吉野比弓 丹波哲郎 大原麗子  
伊達弘 ほか

#### ◎高倉健主演の『網走番外地』シリーズ第8作！今度は雪と氷の下真中！

猟銃・日本刀・あらくれ馬で大アクション！網走シリーズの丹波哲郎、嵐寛寿郎、吉田輝雄、田中邦衛、由利徹ら豪華レギュラー陣が総出演。

網走刑務所で刑期を終えた橋真一は、行くあてのない汽車の旅の中、遠いノサップのサガレン炭鉱まで父に会いに行くという一人の少女・チエと出会った。チエを父親に会わせてやろうと、橋もサガレンで下車したが、そこは人っ子一人いない吹雪の町。橋はやっとのことで強欲な万屋の主人から20万円の保証金で馬車を借りた。サガレン炭鉱に着くと、チエの父親は意外にも刑務所仲間の大槻だった。橋は再会を喜んだが、抗夫長の虻がチエとの仲を裂いて大槻を鉱山に入れようとした。頭にきた橋は虻と大喧嘩。大槻の代わりに橋がこの日だけ鉱山に入ることを納得させた。だが、鉱山は地獄だった。休憩時間もなく、労働者は馬車馬のごとくこき使われていた。橋に手痛い目にあわされた虻は、仲間と組んで報復手段に出る。多勢に無勢、橋は吹雪の道に放り出されてしまった。



© 東映

### ◆ぼっばや (鉄道員) <112分/1999年/日本/東映>

\*エコーホール【11/6】①18:25 【11/7】①11:10 【11/8】①11:10

#### ◎監督：降旗康男

出演：高倉 健 大竹しのぶ 広末涼子 吉岡秀隆 安藤政信 平田 満 ほか

#### ◎浅田次郎の直木賞受賞作を、高倉健主演で映画化した人生ドラマ。

筋金入りの鉄道員(ぼっばや)として気概と誇りを胸に生きてきた男が、定年目前になり自らの人生を振り返る。厳冬の寂しき終着駅(根室本線 幾寅駅)が舞台。

※<第23回モントリオール世界映画祭>主演男優賞！

北の果ての小さな終着駅で、不器用なまでにまっすぐ、鉄道員(ぼっばや)一筋の人生を送ってきた一人の男。一人娘を亡くした日も、愛する妻を亡くした日も、男は駅に立ち続けた……。男の名は佐藤乙松(おとまつ)。今年で定年を迎える乙松は、彼と運命を共にするように廃線が決まった北海道のローカル線の駅長だった。駅を守り続けながらも、かつて愛する妻と幼い一人娘の命さえ守れなかった苦い痛恨は、乙松の心に深く宿っていた。降りしきる雪に汽車が何分遅れようとも、制帽を目深にかぶり、背すじを伸ばして、氷点下30℃近い極寒のプラットホームに立ち続ける乙松の姿は、まるで自分自身に厳しい罰を与えているかのようだった…。そんなある日、いつものように気動車を見送り、ホームの雪掻きをしていた乙松のもとへ、愛らしい少女がやって来る。見慣れない顔に、この町の子ではないなと思う乙松。「今年一年生になるの！」あどけない笑顔で話す少女の手には、時代遅れの人形が抱かれていた。二言三言の会話を残して風のように走り去ってゆく少女を、目を細めて見送る乙松…。ありふれた日々の、なにげない出来事のように思えたこの出会いこそ、孤独な乙松の人生に訪れた、やさしい時間の始まりだった…。



© 1999「鉄道員(ぼっばや)」製作委員会

## ■ご当地(ロケ)映画 (3作品)【北海道・オホーツクロケ作品】

・北海道・オホーツクのロケ作品を地元で鑑賞することで、映画と地域の関わりの素晴らしさに触れます！

### ☆ぶどうのなみだ <117分/2014年/日本/アスミック・エース>

\*エコーホール【11/7】①17:10 【11/8】①17:10

#### ☆監督・脚本：三島由紀子「しあわせのパン」

出演：大泉 洋 染谷将太 安藤裕子 田口トモロヲ 前野朋哉 ほか

#### ☆それは しあわせになるための ひとしづく 北海道・空知のワイナリー。

兄弟ふたりの静かな生活。ある日、ふしぎな旅人があらわれた—  
『しあわせのパン』のスタッフが大泉洋を主演に迎えて贈るオリジナル北海道企画第2弾！

※<第38回モントリオール世界映画祭>特別招待作品！

北海道・空知。父が遺した小麦畑と葡萄の樹のそばで、兄のアオはワインをつくり、ひとまわり年の離れた弟のロクは、小麦を育てている。アオは“黒いダイヤ”と呼ばれる葡萄“ピノ・ノワール”の醸造に励んでいるが、なかなか理想のワインはできない。そんなある日、キャンピングカーに乗ったひとりの旅人が、突然ふたりの目の前に現れた。エリカと名乗る不思議な輝きを放つ彼女は、アオとロクの静かな生活に新しい風を吹き込んでいく…



© 2014 『ぶどうのなみだ』製作委員会